



MLP ウィークリー

2017年5月第3週号(2017年5月16日発行)

2017年5月12日時点

(1週間前=5月5日、前月末=4月末、前四半期末=3月末、前年末=2016年12月末)

なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

■先週のS&P MLP 指数の動き

先週のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前週末比+1.1%と2週ぶりの上昇となりました。8日(月)は、サウジアラビアやロシアが原油の減産合意について、来年までの延長に前向きな姿勢を示したことを受け、原油価格、MLPともに小幅続伸しました。9日(火)は、リビアの原油生産が約2年ぶりの高水準まで回復したことを受け原油価格が反落したこと、そして、大手MLPの決算内容が市場予想を下回ったことなどが嫌気され、MLPは反落しました。しかしながら、10日(水)は、EIA(米エネルギー情報局)の週間統計で、米原油在庫が年初来最大の減少となり、原油価格が大幅反発したことなどから、S&P MLP 指数は前日比+1.9%と週の中で最も大きく上昇しました。11日(木)は、米百貨店大手から低調な決算発表が相次いだほか、FBI(米連邦捜査局)長官解任に伴う政治的混乱への懸念などを背景に米国株式市場が下落したこと、MLPも反落しました。しかしながら、12日(金)は、米小売売上高および消費者物価が総じて予想を下回る伸びとなり、長期金利が低下するなか、MLPは反発して週末を迎えました。

■主要指標の動き

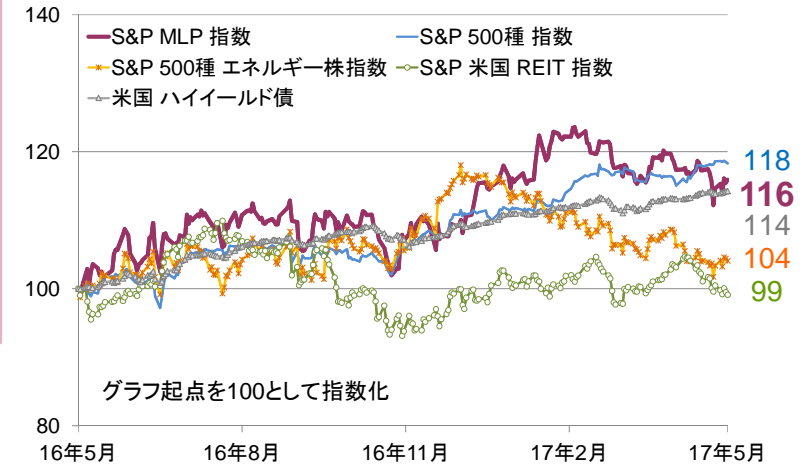
* 過去1年(2016年5月12日~2017年5月12日)

	指数値 2017/5/12	騰落率				過去1年*	
		週間	前月末比	前四半期末比	前年末比	高値	安値
S&P MLP 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	4,894.84	1.1%	-1.2%	-2.7%	0.9%	5,220.31	4,194.12
プライスリターン	1,719.02	0.6%	-2.2%	-4.3%	-2.4%	1,874.92	1,566.42
S&P 500種 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	4,602.96	-0.3%	0.4%	1.4%	7.6%	4,618.19	3,781.02
プライスリターン	2,390.90	-0.3%	0.3%	1.2%	6.8%	2,399.63	2,000.54
S&P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)							
トータルリターン	845.97	0.7%	-0.0%	-2.9%	-9.4%	959.65	802.81
プライスリターン	497.35	0.4%	-0.3%	-3.2%	-10.3%	569.85	485.07
S&P 米国 REIT 指数(米ドルベース)							
トータルリターン	1,169.81	-1.3%	-1.9%	-1.9%	-1.4%	1,297.23	1,099.20
プライスリターン	305.03	-1.4%	-2.1%	-2.2%	-2.6%	349.03	292.58
米国ハイイールド債(BofAメリルリンチ・米国ハイイールド・マスターII・インデックス(米ドルベース))							
トータルリターン	1,221.89	0.4%	0.2%	1.3%	4.1%	1,221.89	1,067.96
プライスリターン	78.74	0.2%	-0.0%	0.6%	1.7%	79.06	73.29
米国10年国債利回り	2.32%	-0.02	0.05	-0.06	-0.12	2.62%	1.35%
原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり	47.84	3.5%	-3.0%	-5.5%	-10.9%	54.45	39.51
天然ガス(ヘンリーハブ) 米ドル/百万btu当たり	3.25	5.7%	2.5%	4.8%	-11.8%	3.76	1.75
米ドル(対円)	113.34	0.6%	1.6%	1.8%	-3.1%	118.18	99.89

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■過去1年の指数の推移(米ドルベース/トータルリターン)

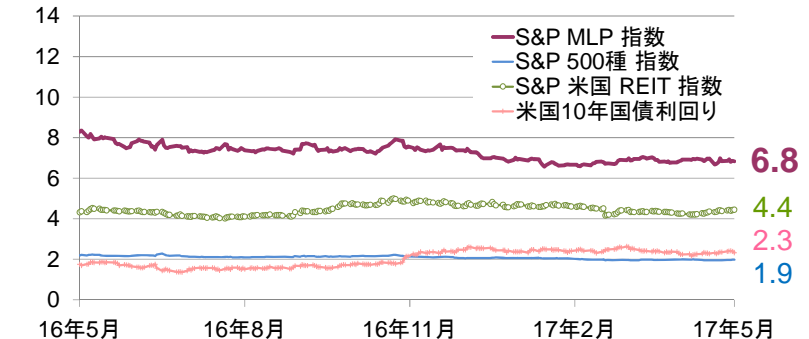
(2016年5月12日~2017年5月12日)



グラフ起点を100として指数化

■各資産の利回り

(%) (2016年5月12日~2017年5月12日)



※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

※ 各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

日興アセットマネジメント

facebook twitter で、
経済、投資の最新情報をお届けしています。

■当資料は、日興アセットマネジメントが世界の経済、金融・資本市場についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する見解は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。